

Git/GitHub導入資料

Rev. 1.00

2019年7月22日

アドマックス株式会社

1. 準備するもの

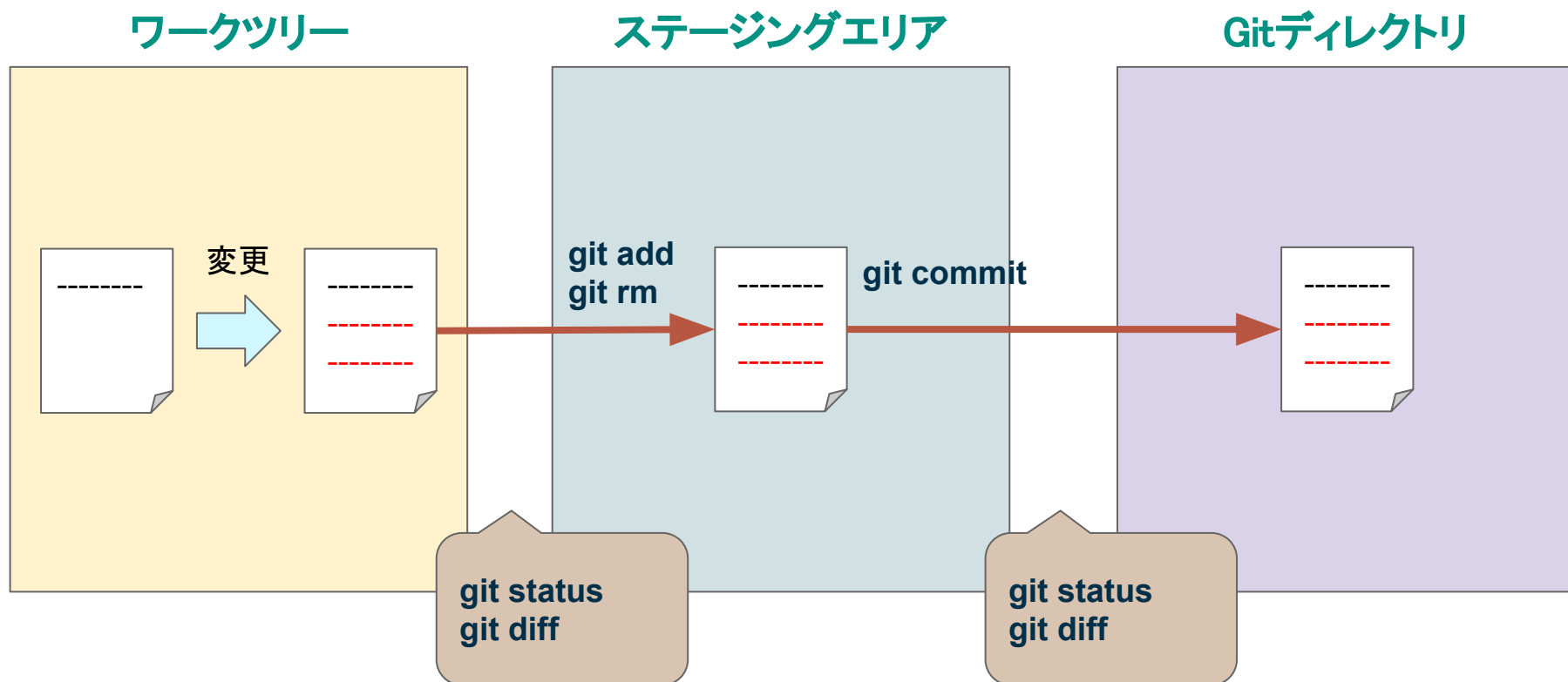
	項目	説明	必須	備考
1	Git-2.20.1-64-bit.exe	Gitクライアントソフト	必須	Gitを操作する基本ソフト
2	VSCodeUserSetup-x64-1.30.2.exe	Visual Studio Code	必須	Gitと連携するエディタ
3	GitHubアカウント	個人用Freeプラン https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/1612/05/news022.html	必須	admaxドメインのメールアドレスで登録する ※公開鍵の設定も行う
4	SourceTreeSetup-3.0.15.exe	Source Tree	任意	GitのGUIツール

用語集

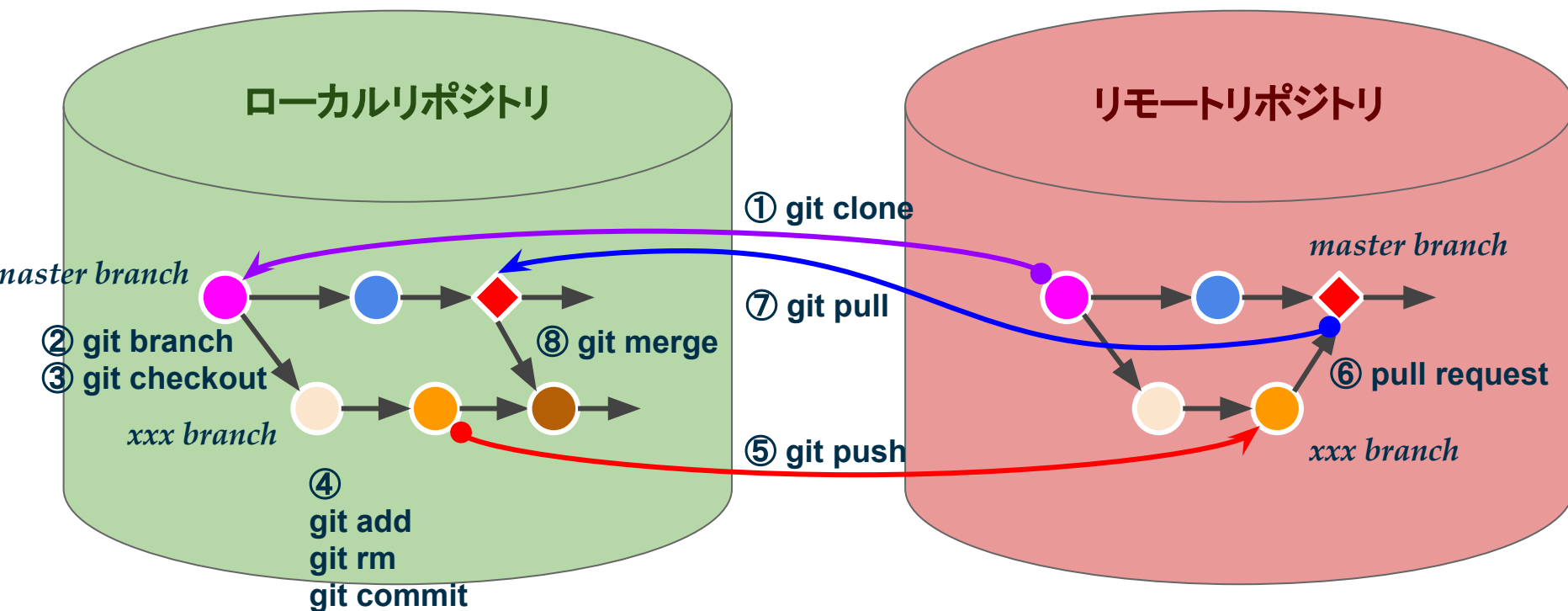
用語	説明	備考
ローカルリポジトリ	自分のPCに作成したソース管理環境	
リモートリポジトリ	GitHubに作成したソース管理環境	
ブランチ	作業者は各自ブランチを分けてリポジトリ管理する	
クローン	リモートリポジトリをローカルリポジトリに複製する	
プル	リモートリポジトリの内容をローカルリポジトリに反映する	
プッシュ	ローカルリポジトリの内容をリモートリポジトリに反映する	
マージ(ローカル)	masterブランチの内容をブランチに反映する	
マージ(リモート)	ブランチの内容をmasterに反映する	
コミット(ローカル)	ローカルの変更内容をリポジトリに反映する	
プルリクエスト	リモートのブランチの内容をmasterに反映するための要求	

【参考資料】コマンドリファレンス:<https://book.impress.co.jp/books/1118101036>

ローカルリポジトリの概念



リモートリポジトリとブランチの概念



ローカル環境の設定

1	ユーザ名の設定	\$ git config --global user.name <任意の名前>
2	メールアドレスの設定	\$ git config --global user.email <Eメールアドレス>
3	エディタ(VS Code)の設定	\$ git config --global core.editor "code --wait"
4	設定の確認	\$ git config --list

作業の流れ

【運用ルール】

- ブランチ名は、Windowsのドメインユーザ名とする。
- 作業は必ず各自のブランチで行い、masterでのソース変更やコミットは厳禁。
-

1	リモートリポジトリをクローンする	\$ git clone <リモートリポジトリのURL>
2	ブランチを作成する	\$ git branch <ブランチ名>
3	ブランチを切り替える	\$ git checkout <ブランチ名>
4	ソースの変更	
5	ステータスの確認	\$ git status
6	差分の確認	\$ git diff
7	変更のコミット	\$ git commit -a
8	リモートリポジトリへの反映	\$ git push origin <ブランチ名>
9	プルリクエストをレビューアへ送信	
10	レビューアによるレビューとマージ	

作業の流れ

【運用ルール】

- ブランチ名は、Windowsのドメインユーザ名とする。
- 作業は必ず各自のブランチで行い、masterでのソース変更やコミットは厳禁。
-

11	リモートリポジトリをローカルに反映	\$ git checkout master \$ git pull origin master
12	masterをブランチに反映 ※必ずブランチを切り替える	\$ git checkout <ブランチ名> \$ git merge master

例) XMLSample (VisualStudio/C#)

※あらかじめGitHubでリポジトリを作成しておく

```
$ git clone  
git@github.com:Yoshihiro-Ito/XMLSample  
.git
```

※この後、VisualStudioでプロジェクトを作成する

```
$ cd XMLSample
```

```
$ git commit -a
```

```
$ git push origin
```